

情報公開文書

2019年8月15日 Ver.3.0

◆入院中の脳腫瘍患者における不眠状況および睡眠剤使用状況の後方視的実態調査

1. 研究の対象となる方

2015年1月～2019年3月に当院脳神経外科病棟に入院した脳腫瘍患者さん

2. 研究目的・研究の方法

不眠はがん患者において頻度が高い症状の1つです。不眠はそれ自体が大きな苦痛をもたらすほか、患者さんの生活の質の低下をもたらすことがあります。

脳腫瘍の患者さんは、抗がん剤治療、放射線治療、脳神経外科的治療や脳浮腫に対するステロイド治療の影響など睡眠障害を起こし易いことが考えられます。また、脳腫瘍の患者さんは高齢者も多く、転倒転落を起こしづらい睡眠剤を選択することも重要です。

一方、脳腫瘍の患者さんにおける不眠の状況や睡眠剤の使用状況や適性使用についての報告は少なく、睡眠剤の処方医師の使用経験による影響が大きいのが現状です。

よって今回、当院入院中の脳腫瘍患者における不眠状況および睡眠剤使用状況について診療記録の情報から後方視的に実態調査を行い、睡眠剤の適正使用につなげたいと考えています。

3. 研究に用いる情報の種類

診療記録、Safe Masterの情報より病名、性別、年齢、睡眠剤の服用の有無、服用していた睡眠剤の種類、睡眠剤以外の併用薬、肝機能値、腎機能値、体格指数、転倒の有無について調査します。

4. 研究に用いる情報を利用する者の範囲

千葉県がんセンター薬剤部 菅野ゆみか ほか、脳神経外科医師および薬剤師

5. 研究が行われる機関および研究者名

千葉県がんセンター 薬剤部 菅野ゆみか ほか、
公式ホームページ <http://www.pref.chiba.lg.jp/gan/>

6. 研究責任者

菅野 ゆみか
千葉県がんセンター薬剤部

7. 個人情報の保護について

利用する情報からは患者さんを直接特定できるような個人情報は削除します。また、研究成果は国内外の学会や学術雑誌等での発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できるような個人情報は利用しません。

8. 研究の資金源および利益相反について

本研究は、基本的に資金を必要としません。

本研究に必用な経費が生じた場合は競争的研究資金を得て、これを利用します。

研究に関する利益相反は、当院の利益相反委員会の審査を受けています。

9. この研究は倫理審査委員会の承認が得られています。

本研究は当院の倫理審査委員会で審議され、研究の承認が得られています。

10. この研究への参加を希望しない時はご連絡ください。

あなたの診療情報を研究に用いられることを、あなたまたは代理人の方にご了承いただけない場合は研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。研究に参加しなかった場合でも、患者さんに不利益が生じることは全くありません。

また、本研究に関するご質問がある場合も下記へお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書および研究の計画に関する資料を閲覧することができますのでお知らせください。

研究責任者 千葉県がんセンター 薬剤部 菅野ゆみか

〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町 666-2

TEL 043-264-5431(代表番号)